

委員会事業方針・事業計画

総務委員会

担当副理事長 川 浪 剛 功

基本方針

1963年、地域の青年経済人が「明るい豊かな社会」の実現を目指し立ち上がり JCI 五所川原が誕生し、地域のため、今を生きる私たちの未来のためにご尽力されてきました。私たちは、先輩諸兄姉から60年間続いてきた運動が地域をより良くしてきた事を誇りに思い、この思いに対し、地域の皆様に共感を得ることが大きな力になると信じ、更なる未来へ「前進」するためにメンバーが力を十二分に発揮する健全な組織運営に取り組む必要があります。

今年度、総務委員会としては各委員会、執行部と連携を図り「新年祝賀会」を皮切りに各定例会のセレモニーの設営を確実にを行います。また、先輩諸兄姉から受け継がれてきた思いを更なる未来へ繋げるための「役員選考委員会委員選挙」を企画運営するとともに、規律ある組織運営をするための決まり事を理解、メンバーに共有していきます。その上で、地域の皆様、先輩諸兄姉をはじめとする組織の対内外への感謝と活動を伝播し一層の信頼を高める「認承60周年記念式典」、「認承60周年記念事業」を行います。

認承60周年という節目を迎えた今年度、これまでの歴史に感謝の気持ちを忘れず、未来永劫発展し続ける持続可能な地域となるために、今後の JCI 五所川原の更なる発展に向け、「覚悟」を持ち精進して参ります。

委員長 高 橋 千恵子

基本方針

2024年度をもちまして JCI 五所川原は認承60周年を迎えます。先輩諸兄姉が「明るい豊かな社会」の実現を目指し守り続けてきた組織運営を維持継続するためだけでなく、より円滑に実行するために今一度学び、その上で現代社会に合わせたやり方を構築し、一人ひとりが理解を深め、さらに地域への感謝の気持ちと更なる貢献について考え行動できる精神力、行動力、人間力を磨きながら規律ある運営を実行していくことが必要不可欠です。

今年度は各委員会メンバーと連携し合いながら「新年祝賀会」をはじめ、各定例会セレモニーの設営や、「役員選考委員会委員選挙」など運営しながら規律ある組織運営を誰でもスムーズに取り組み JCI 五所川原として恥じる事がない様、質の高い学びの機会を作って参ります。そして、「認承60周年記念事業」や「認承60周年記念式典」にて改めてこの団体の存在価値や地域貢献について見つめ直す機会になる様、歴史を守り続ける向上心を高めることができる式典を開催していきます。

総務委員会は組織の規律を確保し示すものとして、今後のさらなる JC 活動への覚悟の表明、歴史の振り返りなどさまざまな要素から成り立つことを感じて頂き、青年のリーダーシップと地域貢献の乖離が生まれぬような行動や「覚悟」を持ち、地域の発展についてさらに邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

例会の主管

◎定例会（1月）他1

「新年祝賀会」

新体制でのご挨拶、当会の2024年度の活動内容と方針を来賓の方々に向けて発表し、理解を深めて頂くことを目的とした事業。

・通信運搬費	55,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	14,500円	・賃借料	180,000円
・委託費	912,000円	・雑費	2,000円

予算 1,165,000円

◎定例会（7月）他1

「役員選考委員会委員選挙」

当会の2024年度における役員選考委員会委員を選出することを目的とした定例会。

・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	4,000円
・委託費	3,000円		

予算 20,000円

◎定例会（11月）他3

「認承60周年記念式典」

これまで当会を支えてくださった全ての皆様に感謝の意を表し、60年の軌跡と記念事業の報告をする認承60周年記念式典。

・通信運搬費	50,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	180,000円
・委託費	910,000円	・渉外費	10,000円

予算 1,160,000円

※その他の事業

◎「認承60周年記念事業」(11月)公3

地域の皆様、先輩諸兄弟をはじめとする組織の対内外への感謝と活動を伝播し一層の信頼を高める事業。

・通信運搬費	40,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	200,000円	・賃借料	200,000円
・委託費	300,000円		

予算 750,000円

事業費合計 3,095,000円

事務局

事務局長 小野 顕 成

基本方針

JCI 五所川原は「明るい豊かな社会の実現」に向けて運動を展開して参りました。しかし、時代とともに人材の価値が高まる昨今に於いて、当会の運動を発信するためには一人の力ではなく会員同士が連携することが求められます。事務局長はこれまで事務局の基本業務を中心として役割を担って参りましたが、事務局側ができることを今一度前向きに模索することで、委員会の垣根を越えた各種定例会と総会の構築や地域に向けて時代に即した情報発信をしていかなければなりません。

その為には、連携するための基盤となる事務局の基本業務に加えて、委員会と連携しながら SNS を活用して地域の皆様にいち早く当会の情報を発信します。そして、年に2回開催される「通常総会」と1年間を締めくくる「12月定例会」を実施して会員の連携に寄与します。また、これまでお世話になった先輩諸兄姉と交流する「OB 交流会」と、新たな仲間と出会う「異業種交流会」を実施することで縁ある方との繋がりをより強固にして参ります。

連携とは1人の努力では生まれることはなく、仲間と共に行動して互いの良さを引き出し合うことで事業価値が高まります。仲間がいることへの感謝の心を忘れずに最良の青年会議所活動となるよう1年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

例会の主管

◎定例会（2月）管理費に計上

「通常総会」

当会に2023年度の事業費報告及び、収支決算報告承認を行うことを目的とした総会。

・通信運搬費	7,000円	・消耗品費	3,000円
・印刷製本費	4,000円	・賃借料	10,000円
・委託費	4,000円	・雑費	2,000円

予算 30,000円

◎定例会（3月）他1

「OB交流会」

OBから運動と友情の大切さを学ぶ事業。

・通信運搬費	7,000円	・消耗品費	3,000円
・印刷製本費	4,000円	・賃借料	120,000円
・委託費	4,000円	・雑費	2,000円

予算 140,000円

◎定例会（4月）他2

「異業種交流会」

新たな仲間と出会うべく会員拡大に関する事業。

・通信運搬費	7,000円	・消耗品費	3,000円
・印刷製本費	4,000円	・賃借料	120,000円
・委託費	54,000円	・雑費	12,000円

予算 200,000円

◎定例会（9月）管理費に計上

「通常総会」

当会に2025年度の役員候補者及び組織図案の承認を行うことを目的とした総会。

・通信運搬費	7,000円	・消耗品費	3,000円
・印刷製本費	4,000円	・賃借料	10,000円
・委託費	4,000円	・雑費	2,000円

予算 30,000円

◎定例会（12月）及び褒賞の企画 他2

2024年度を振り返り2024年度を展望する事業の開催。また、2024年度の青年会議所運動に貢献・功
 労したメンバー及び委員会への褒賞の企画を目的とした事業。

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	14,000円	・賃借料	245,000円
・委託費	6,000円	・雑費	75,000円

予算 350,000円

※その他の事業

◎「認承60周年記念事業」(11月) 他3

認承から60年の歴史を紡いでこられた先輩諸兄弟の活動を振り返り、次世代へと繋ぎ生かされる記
 念誌の発行。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	10,000円	・賃借料	20,000円
・委託費	600,000円	・雑費	5,000円

予算 650,000円

事業費合計 1,400,000円

奥津軽虫と火まつり委員会

担当副理事長 佐々木 康 幸

基本方針（まちづくり）

少子超高齢化や地方の人口減少・過疎化の波は一向に収まらず、地域の今を生きる青年の希望は薄れ・現代社会に疲弊しています。先行き不透明な現代において、責任世代といわれる私たちが先頭に立ち様々な情報を取り入れ社会に変革をもたらす機会の創出をしていかなければなりません。このような状況を打破していくためには、こどもたちの郷土愛を高め、この地域の未来を担う人財を育成すると共に、若者を中心とした街おこしを行っていくという地域の協力姿勢ならびに土壌の醸成が必要不可欠です。

そのためには、まず五所川原市と2012年度に協定され今日まで実施してきた事業を基に今年度も「市民」「行政」「当会」が三位一体となり、この地域の未来戦略について持続的に思考を巡らせ取り組んでいきます。また、若者を中心とした街おこしを行っていくべく、高校生や大学生など若者の常識や固定観念に囚われない発想を生かし、地域の魅力発信や新たな地域産業創出のきっかけづくりを行っていきます。

青年が希望を持てる社会、柔軟な発想でおこすまちづくり、そうした取り組みの一つ一つが地方衰退の歯止めとなり、延いてはこの地域の持続と発展、また「明るい豊かな社会」の実現に繋がると確信し1年間尽力して参ります。

基本方針（奥津軽虫と火まつり）

約半世紀もの間、「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込めて執り行い、語り、受け継がれてきた「奥津軽虫と火まつり」。昨今では疫病、災害の激甚化、農水産物の不作、海外での紛争など、地域・全世界でこれまでに類を見ない危機に陥っています。

このような情勢の中、地域の幸せを願うまつりにするには、地域の人と共に神事の意義を再認識し、地域の人と共に「奥津軽虫と火まつり」を発展させていくことが必要不可欠です。

そのためには、先輩諸兄弟および関係諸団体と協議を重ねながら、このまつりを継続していくための基礎を固め、確実に未来に繋ぐ手法の確立を行っていくと共に、「親善大使事業」や広報活動にも力を入れ、多くの人へ「奥津軽虫と火まつり」を広く学び伝えていきます。

また、より多くの地域の人を「奥津軽虫と火まつり」に巻き込んでいくと共に、安全に準備・運行する環境の整備を行います。

これまでのまつりの軌跡を学び、天下の安寧を願い、地域に愛され必要とされる「奥津軽虫と火まつり」を目指し・絶やさぬようにすることが必ずや「明るい豊かな社会」の実現に繋がると確信し1年間尽力して参ります。

委員長 大澤 慎 司

基本方針

51年という長い時間、先人達や先輩諸兄姉、関係諸団体の皆様のご尽力によりこの地域に根差し、愛されてきた「奥津軽虫と火まつり」。このまつりを次世代へと引き継ぐためにも、「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込めて行われてきました。また、より多くの地域の皆様にご理解いただき、さらなるまつりの発展を目指すとともに、次世代の担い手となりうる、こどもたちに伝承し続けていく義務があります。

そのために、本年度も高校生や大学生と、「親善大使事業」を行い、広報活動にも尽力して参ります。そして、この地域のこどもたちへ神事の意義と祈ることの大切さを伝え、安全に参加する方法を確立し、次世代の担い手となりうる人材へと成長していただきたいと考えます。我々も今一度この「奥津軽虫と火まつり」を深く考える機会を設ける事により、これまでのまつり、そしてこれからの考え、新たなるまつりを次世代に紡ぐ事が出来るように活動して参ります。

これまで積み重ねてきた歴史をしっかりと受け継ぎ、この地域の「弥栄」を願い、「第52回奥津軽虫と火まつり」を進化させることによって、「明るい豊かな社会」の実現となることを確信し、1年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

例会の主管

◎定例会（6月）公2

「第52回奥津軽虫と火まつり」

JCI五所川原が主催し、地域の人々や参加者と共に「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込め、地域と世界の幸せを願う定例会。

・旅費交通費	2,000円	・通信運搬費	55,000円
・修繕費	20,000円	・消耗品費	1,500,000円
・賃借費	180,000円	・印刷製本費	40,000円
・諸謝金	315,000円	・保険料	250,000円
・委託費	2,020,000円	・支払負担金	35,000円
・雑費	200,000円	・衛生費	183,000円

予算 4,800,000円

◎定例会（10月）他2

「今年の奥津軽虫と火まつりを振り帰り、未来へ飛躍するための定例会（仮称）」

「奥津軽虫と火まつり」を未来へ引き継ぐために、これまでと現在を正しく評価し、次年度以降の継続を確固たるものとし、未来へ飛躍するための定例会。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	10,000円	・賃借料	10,000円

予算 40,000円

※その他の事業

◎「奥津軽虫と火まつり親善大使事業（仮称）」（3月～6月）公2

高校生・大学生が「奥津軽虫と火まつり親善大使」となり、次世代を担う子どもたちへ、まつりと祈りの重要さを伝える事業。

・通信運搬費	20,000円	・消耗品費	15,000円
・印刷製本費	20,000円	・賃借料	15,000円
・保険料	30,000円	・委託費	30,000円
・雑費	20,000円		

予算 150,000円

事業費合計 4,990,000円

青少年育成委員会

担当副理事長 工藤 智哉

基本方針

次世代の地域を担う子供たちを取り巻く環境はコロナ禍を経て、教育のオンライン化、デジタル化が加速しました。この急激な変化が進む事で子供たちが様々な変化に積極的に向き合うことや、地域の魅力に参加する機を逸する恐れがあります。リアルな体験活動が不足することで様々な問題を柔軟に解決する能力の低下に繋がります。私たち地域団体は、次世代の地域の担い手である子供たちに豊かな体験活動の提供をすることが責務だと考えます。

そのためにも、五所川原が誇る「立佞武多」に参画できる環境の基盤整備を進めて参ります。次世代の地域の担い手である子供たちに誇れるまつり文化をしっかりと伝承すると共に子供たちが積極的に向き合い、体験活動に参加出来る機会を提供します。その体験を地域に住み暮らす同年代の仲間と共有することで責任感や適応力を育みます。更には自分の知識や体験を基に考え、対立やジレンマを克服できる力を、新しい物事に対して受け入れることのできる柔軟な思考を持った人材の育成に繋がります。

子供たちはリアルな体験を通じて人と人との繋がりや、友人を思いやる心の大切さを学びます。この経験が子供たちの生涯の財産となり、地域を誇り愛する事の出来る次世代の立役者へと成長する手助けをすることで、「明るい豊かな社会」の実現へ繋がるものと信じ、1年間取り組んで参ります。

委員長 野上 新一郎

基本方針

近年では、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等による影響がまだ続いている中、少子化や核家族化、デジタル化等の問題も加速している状況と思われます。それに伴い、現代の青少年たちは日々の学校生活で自然の中でのリアルな体験をする場や責任ある行動をとる力、対立やジレンマを克服する力の低下が懸念されます。私たち地域団体としては、青少年の健全な成長を願い、様々な策を考え、取り組むことが責務であり、青少年の健全な育成のためには、豊かな体験が必要です。

そのためには、「青少年の成長を支える体験」として自然の中でのリアルな体験をする場を創出し、参加することで地域の自然にふれ、人の温かさにふれ、そしてその経験が青少年たちの成長に繋がっていきます。本年も「じょっぱりロード2024」を開催し、仲間とともに苦楽をともにし、励まし慰めあい自然の中でリアルな体験をし、その先にある感動を味わうことで仲間の大切さを知り、そして責任ある行動力を身につけ青少年たちの成長に繋がります。

この体験を通じて仲間とともにした時間は、青少年たちの成長へと繋がり、身についた経験はこれからの人生の糧となり、次世代の立役者へと成長する手助けとなります。そして生まれ育った地域の担い手となることと信じ取り組んで参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会（5月）公1

「地域の自然に触れ体験する青少年育成事業（仮称）」

自然の中でのリアルな体験を通し、感動を味わう事業。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	30,000円
・印刷製本費	15,000円	・保険料	30,000円
・委託費	100,000円	・雑費	15,000円

予算 200,000円

※公開定例会（8月）公1

◎「じょっぱりロード2024（仮称）」

徒歩修行を通じ、地域の自然や人の温かさに触れ、責任ある行動力を育む事業。

・旅費交通費	300,000円	・通信運搬費	100,000円
・消耗品費	100,000円	・印刷製本費	30,000円
・燃料費	20,000円	・賃借料	40,000円
・保険料	150,000円	・諸謝金	20,000円
・租税公課費	3,000円	・委託費	550,000円
・衛生費	20,000円	・雑費	80,000円

予算 1,413,000円

※その他の事業

◎「じょっぱりロード2024（仮称ボランティアスタッフ研修会・参加者説明会）」（7～9月）公1

じょっぱりロード開催に向け、参加者をサポートするボランティア学生の研修と、参加者の保護者に向けて説明会を行い、事業の円滑な実施を図るとともに、事業への意識向上を促す事業。

・旅費交通費	60,000円	・通信運搬費	1,000円
・印刷製本費	10,000円	・賃借料	12,000円
・保険料	10,000円	・委託費	80,000円
・雑費	7,000円		

予算 180,000円

◎「親子 de 立佞武多 2024 (仮称)」(8月) 公3

次世代が誇りを持ちまつりに参加する事業。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	40,000円
・印刷製本費	20,000円	・委託費	500,000円
・雑費	30,000円		

予算 600,000円

◎「親子 de 囃子 2024 (仮称)」(8月) 公3

次世代がまつりに興味をもち、継続的な参加を目的とする事業。

・通信運搬費	1,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	15,000円	・委託費	78,000円
・雑費	6,000円		

予算 110,000円

事業費合計 2,503,000円

年間事業スケジュール(事業)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
日本青年会議所	京都会議 18日(木)～21日(日) 総会 京都20日(土)		総会 東京23日(土)			
東北地区協議会	正副会務会議 仙台16日(火) 役員会議 仙台31日(火) 会員会議所会議 京都19日(金)	正副会務会議 仙台13日(火) 役員会議 郡山27日(火)	正副会務会議 泉12日(火) 役員会議 弘前26日(火)	正副会務会議 郡山9日(火) 役員会議 由利本荘23日(火)	正副会務会議 未定14日(火) 役員会議 泉28日(火)	正副会務会議 酒田11日(火) 役員会議 未定25日(火) 会員会議所会議 仙台28日(金)
青森ブロック協議会	役員会議 青森17日(火) 会員会議所会議 弘前27日(土) 新春名刺交歓会 弘前27日(土) ブロックアカデミー開校式 弘前27日(土)	役員会議 青森8日(火) 会員会議所会議 三沢24日(土)	役員会議 青森6日(火) 会員会議所会議 未定16日(土) ブロックアカデミー第一講座 五所川原2日(土)	役員会議 青森10日(火) 会員会議所会議 八戸27日(土)	役員会議 青森8日(火) 会員会議所会議 五所川原25日(土) ブロックアカデミー第二講座 八戸11日(土)	役員会議 青森5日(火) 会員会議所会議 青森22日(土)
五所川原青年会議所						
理事会	5日(金)	6日(火)	5日(火)	9日(火)	9日(木)	6日(木)
総務委員会	新年祝賀会					
奥津軽虫と火まつり委員会						第52回 奥津軽虫と火まつり 6月15日(土)
青少年委員会					青少年育成事業	
事務局		通常総会	OB交流会	異業種交流会		

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
日本青年会議所	国際アカデミー 福井 8日(月)～14日(日) サマーコンファレンス 横浜 20日(土)～21日(日)			全国大会 福岡 3日(木)～6日(日) 総会 福岡 4日(金)	JCI世界会議 台湾 10月30日(木) ～11月3日(日)	
東北地区協議会	正副会務会議 遠野9日(火) 役員会議 未定23日(火)	正副会務会議 未定13日(火) 役員会議 未定27日(火)	正副会務会議 未定10日(火) 役員会議 未定24日(火) 東北青年フォーラム 青森	正副会務会議 未定8日(火) 役員会議 未定29日(金)	正副会務会議 未定12日(火)	役員会議 未定5日(火) 会員会議所会議 仙台6日(金)
青森ブロック協議会	役員会議 青森3日(火) 会員会議所会議 むつ13日(土) アオモリサマーサミットむつ 13日(土)～14日(日) ブロックアカデミー第三講座 むつ13日(土)	役員会議 青森9日(金) 会員会議所会議 未定24日(土)	役員会議 青森11日(火) 会員会議所会議 黒石28日(土) ブロックアカデミー第四講座 三沢21日(土)	役員会議 青森10日(火) 会員会議所会議 十和田26日(土)	役員会議 青森13日(火) 会員会議所会議 弘前30日(土) 卒業式・大望年会 弘前30日(土) ブロックアカデミー開校式 弘前30日(土)	
五所川原青年会議所						
理事会	10日(火)	1日(木)	3日(火)	1日(火)	5日(火)	3日(火)
総務委員会	役員選考委員会 委員選挙				認承 60周年記念式典	
奥津軽虫と火まつり委員会				まつり事業		
青少年委員会		青少年育成事業				
事務局			通常総会			次年度事業説明会 並びにLOM内褒賞